

要 望 書

令和7年7月

首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会
新東名高速道路建設促進期成同盟会
神奈川東部地区高速道路網整備促進協議会
関東国道協会 神奈川県地区協議会

首都圏中央連絡自動車道、新東名高速道路等の整備促進について

神奈川は、東名高速道路や東海道新幹線などの交通の大動脈が県土を東西に貫き、羽田空港や横浜港、川崎港などを介し、国内外へのゲートウェイとしての役割を担っている。

そこで、本県では、3つの特区（国家戦略特区、さがみロボット産業特区及び京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区）を活用して、我が国の経済成長を牽引する拠点形成に取り組むとともに、「観光立県かながわ」の実現を目指し、観光の核づくりを進めている。

しかし、こうした取組を支える本県の道路網は、人口や都市機能の集中に比して十分とは言えず、また、国際競争力の源泉である横浜・川崎の湾岸エリアや羽田と、潜在力をもつ県の中央エリアとの高速道路でのつながりが弱く、成長の連鎖が県の全域に広がりにくいという地域構造上の弱点を持っている。

本県では、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）を構成するさがみ縦貫道路の全線開通や、新東名高速道路の一部区間の開通などにより、広域的な移動性の向上や渋滞の改善が図られ、企業活動の活性化や観光振興などの大きなストック効果が現れている。

今後、より一層の生産性の向上や観光振興による経済の好循環を図っていくためには、引き続き、新東名高速道路の残る区間を始め、圏央道を構成する横浜湘南道路や高速横浜環状南線、厚木秦野道路、計画の具体化が必要な新東名高速道路の海老名以東や川崎縦貫道路など、つながるべき道路をつなげていく必要がある。

また、道路ネットワーク機能を最大限発揮させるため、ピンポイント渋滞対策やスマートインターチェンジの設置などにより、高速道路等の有効活用・機能強化を図ることも重要である。

さらに、令和6年に発生した能登半島地震では、ライフラインの寸断など甚大な被害が発生したところであり、本県においても、切迫性が指摘される首都直下地震などによる広域的な被害が発生すれば、首都圏の玄関口に位置する本県の交通が分断され、その影響は全国に波及することが懸念される。

このことから、本県における災害時の道路ネットワークの確保など、防災・減災、国土強靱化を図ることや、道路施設の老朽化対策を講じることは、まさに国家的な課題である。

については、安全で活力と魅力ある神奈川を実現するため、次のことを、計画的かつ着実に推進されることを強く要望する。

記

一、力強く持続的な経済成長の実現、豊かで活力ある地域づくり、安全・安心な県土づくりのため、高速道路やこれと一体となって機能する地域の交流連携を支える幹線道路、観光地にアクセスする道路の整備や、自然災害に事前から備え、生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化のための対策が、長期安定的に進められるよう、必要な予算を十分に確保すること。

令和8年度予算では、資材価格の高騰などの影響を適切に反映し、道路関係予算を拡大した上で、防災・減災、国土強靱化の取組を進めるため、国土強靱化実施中期計画に基づき、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。

一、神奈川の活力と魅力を高めるとともに、首都直下地震等の大規模災害に対応する強靱な幹線道路網を形成するため、重点的な投資により高速道路網の整備促進を図ること。

(一) 新東名高速道路については、東名高速道路とダブルネットワークを形成する重要な路線であり、事業中の静岡県境までの区間の早期整備を図ること。

また、供用後には、一層の物流の効率化を進めるため、全線6車線化の早期実現を図ること。

(二) 横浜湘南道路（圏央道）及び高速横浜環状南線（圏央道）については、横浜港や三浦半島と、県央湘南地区、さらには国土軸を結ぶ重要な路線であり、早期整備を図ること。

(三) 厚木秦野道路（国道246号バイパス）については、新東名高速道路等と一体的なネットワークを形成する重要な路線であり、有料道路事業をはじめ、様々な整備手法の検討を行い、事業化区間の早期整備を図ること。

一、県土の骨格となる幹線道路網について、更なる地域の活性化や防災力の向上に向け、整備促進及び計画の具体化を図ること。

(一) 新東名高速道路の海老名以東（東京～海老名）については、ルートが未確定であり、大都市圏をつなぐダブルネットワークの安定性・効率性を更に向上させるためにも、早期に計画の具体化を図ること。

(二) 横浜環状道路西側区間については、早期に計画の具体化を図ること。

(三) 川崎縦貫道路Ⅰ期の早期整備を図るとともに、大師ジャンクションについては、東京方向へのサービス向上等の機能強化を図ること。また、川崎縦貫道路Ⅱ期(国道15号～東名高速道路)については、東京外かく環状道路（東名高速道路～湾岸道路間）との一本化を含めて幅広く検討を進め、早期に計画の具体化を図ること。

(四) 第三京浜道路については、現在、計画の具体化に向けた検討が進められている東京外かく環状道路と接続させるなど、自動車専用道路のネットワーク化を図ること。

(五) 厚木秦野道路（国道246号バイパス）の未事業化区間については、有料道路事業をはじめ、様々な整備手法の検討を行い、早期に新規事業化を図ること。

(六) 国道357号（川崎市浮島～横須賀市夏島町）の事業化区間については、整備促進を図ること。また、夏島以南については早期に計画の具体化を図ること。

(七) 新湘南バイパスⅡ期(国道1号)については、広域的な幹線道路ネットワークを強化するため、整備促進を図ること。

(八) 伊豆湘南道路(神奈川と静岡の県境をまたぐ道路)については、計画の具体化に向けた取組を支援すること。

(九) 西湘バイパスの延伸については、早期に計画の具体化を図ること。

一、高速道路等のストック効果をさらに高めるため、有効活用・機能強化・保全を図る取組を推進すること。

(一) 高速道路料金については、現在の料金体系が交通に与える影響を引き続き検証した上で、ビッグデータ等を活用した混雑状況に応じた料金及び適切な案内方法の導入や、事業者向け割引の継続及び拡大を図ること。また、渋滞緩和にも資するETC専用化の推進や本線料金所の早期撤廃など、高速道路網の更なる有効活用に向け、物流の効率化の観点も含め、利用者へのサービス向上を図ること。

(二) スマートインターチェンジについては、地域の活性化、防災対策、医療圏域の拡大等が期待できることから、財源を確保し、整備促進を図ること。

特に、(仮称)山北スマートインターチェンジ、(仮称)横須賀PAスマートインターチェンジについては、整備に向けた取組を強力に支援すること。

(三) 東名高速道路の大和トンネル付近の渋滞対策について、早期の全体完成を図ること。また、綾瀬スマートインターチェンジ付近の渋滞対策について、早期の工事着手を図ること。

(四) 中央自動車道については、小仏トンネル付近上り線や相模湖付近下り線の渋滞対策を推進すること。

(五) 横浜新道・国道1号・第三京浜道路については、渋滞対策を推進すること。

(六) 高速湾岸線の扇島地区における出入口については、川崎臨海部の持続的な発展等に資することから、整備に向けた取組を支援すること。

一、安全・安心で活力ある地域づくりのため、次の措置を講じること。

(一) 道の駅やサービスエリア等の休憩施設は、地域振興に資するとともに、災害時の防災拠点としての役割も果たすことから、こうした施設の活用や整備促進を図ること。

(二) 駅周辺の混雑緩和・交通円滑化、防災機能の向上等のため、交通ターミナルの整備促進を図ること。

(三) トンネルや橋りょうなどの道路施設の老朽化対策については、予防保全の観点から、継続的な点検診断に基づく効率的・効果的な維持管理・更新を推進すること。

(四) 通学路などの交通安全対策や無電柱化を強力に推進するとともに、騒音対策等の沿道環境改善事業を重点的に実施すること。また、安全で快適な自転車通行空間の整備を進めるための支援を実施すること。

(五) 平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、重要物流道路に指定された路線について、機能強化及び整備促進のため、十分な予算措置を講じること。

(六) 緊急自然災害防止対策事業債については、令和7年度末に期限を迎えるが、自然災害が激甚化・頻発化する中、引き続き、防災・減災、国土強靱化対策に取り組めるよう期限を延長すること。

令和7年7月30日

首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会

会長 神奈川県知事 黒岩 祐治



新東名高速道路建設促進期成同盟会

会長 神奈川県知事 黒岩 祐治



神奈川東部地区高速道路網整備促進協議会

会長 神奈川県知事 黒岩 祐治



関東国道協会神奈川県地区協議会

会長 厚木市長 山口 貴裕



首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会

会 長	神 奈 川 県 知 事	黒 岩	祐 治
副 会 長	横 浜 市 市 長	山 中	竹 春
副 会 長	相 模 原 市 市 長	本 村	賢 太 郎
副 会 長	藤 沢 市 市 長	鈴 木	恒 夫
副 会 長	厚 木 市 市 長	山 口	貴 裕
副 会 長	海 老 名 市 市 長	内 野	優 豊
副 会 長	愛 川 町 町 長	小 野 澤	和 紀
副 会 長	神 奈 川 県 副 知 事	橋 本	和 紀
理 事	川 崎 市 市 長	福 上	克 宏
理 事	横 須 賀 市 市 長	落 合	克 崇
理 事	平 塚 市 市 長	松 尾	昌 光
理 事	鎌 倉 市 市 長	佐 藤	昌 和
理 事	茅 ヶ 崎 市 市 長	高 橋	力 斗
理 事	秦 野 市 市 長	古 谷 田	弥 佳
理 事	大 和 市 市 長	佐 藤	佳 彦
理 事	座 間 市 市 長	橋 川	鉄 也
理 事	綾 瀬 市 市 長	萩 原	俊 也
監 事	伊 勢 原 市 市 長	萩 木	一 紀
監 事	寒 川 町 町 長	池 田	
常 任 幹 事	神 奈 川 県 県 土 整 備 局 長		

新東名高速道路建設促進期成同盟会

会 長	神 奈 川 県 知 事	黒 山 橋 福 鈴 高 山 萩 橋 湯 内 本 池 田	岩 中 本 田 木 橋 口 原 川 川 野 山 田 中	祐 竹 和 紀 恒 昌 貴 鉄 佳 裕 博 一 洋	治 春 也 彦 夫 和 裕 也 彦 司 優 幸 紀 介
副 会 長	横 浜 市 市 長				
副 会 長	神 奈 川 県 副 知 事				
理 事	川 崎 市 市 長				
理 事	藤 沢 市 市 長				
理 事	秦 野 市 市 長				
理 事	厚 木 市 市 長				
理 事	伊 勢 原 市 市 長				
理 事	綾 瀬 市 市 長				
理 事	山 北 町 町 長				
監 事	海 老 名 市 市 長				
監 事	松 田 町 町 長				
常任幹事	神 奈 川 県 県 土 整 備 局 局 長				
常任幹事	横 浜 市 道 路 局 局 長				

神奈川県東部地区高速道路網整備促進協議会

会 長	神 奈 川 県 知 事	黒 岩 祐 治
副 会 長	横 浜 市 長	山 中 竹 春
副 会 長	川 崎 市 長	福 田 紀 彦
副 会 長	(一社)神奈川県経済同友会代表幹事	滝 澤 秀 之
理 事	横 浜 商 工 会 議 所 会 頭	上 野 孝 文
理 事	(一社)神奈川県経営者協会会長	野 並 直 修 一
理 事	(一社)神奈川県トラック協会会長	吉 田 吉 彦 太
理 事	(公社)横浜貿易協会会長	西 田 幸 太 郎
理 事	横 浜 港 運 協 会 会 長	藤 木 卓 悟 朗
理 事	(一社)横浜市工業会連合会会長	加 藤 修 一
理 事	川 崎 商 工 会 議 所 会 頭	草 壁 知 彦 紀
理 事	川 崎 港 運 協 会 会 長	西 橋 本 田 一 洋 介
理 事	川 崎 市 工 業 団 体 連 合 会 会 長	橋 本 田 中 征 生
常任幹事	神 奈 川 県 県 土 整 備 局 長	池 田 中 合
常任幹事	横 浜 市 道 路 局 長	田 中 合
常任幹事	川 崎 市 建 設 緑 政 局 長	河 合

首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会

新東名高速道路建設促進期成同盟会

神奈川東部地区高速道路網整備促進協議会顧問

顧	問	衆	議	院	議	員	古	川	直	季
顧	問	衆	議	院	議	員	鈴	木	馨	祐
顧	問	衆	議	院	議	員	三	谷	英	弘
顧	問	衆	議	院	議	員	金	村	龍	那
顧	問	衆	議	院	議	員	星	野	剛	士
顧	問	衆	議	院	議	員	長	友	よしひろ	
顧	問	衆	議	院	議	員	佐々木	際	ナオミ	
顧	問	衆	議	院	議	員	山	岡	大志郎	
顧	問	衆	議	院	議	員	西	作	義高	
顧	問	衆	議	院	議	員	深	崎	ヘスス	
顧	問	衆	議	院	議	員	沼	木	満子	
顧	問	衆	議	院	議	員	鈴	原		敦子
顧	問	参	議	院	議	員	三	沢	じゅん	
顧	問	参	議	院	議	員	松	浦	成信	文祐
顧	問	参	議	院	議	員	三	尾	慶一	郎
顧	問	参	議	院	議	員	浅	山	ひろえ	
顧	問	参	議	院	議	員	牧	かごしま	彰	宏
顧	問	参	議	院	議	員	かわ	き	雅	昭
顧	問	参	議	院	議	員	初鹿野	裕	裕	樹
顧	問	参	議	院	議	員	井	上	義	行

首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会 新東名高速道路建設促進期成同盟会参与

参	与	神奈川県議会議長	長	田	進	治
参	与	神奈川県議会建設・企業常任委員会委員長	長	市	さとし	
参	与	神奈川県議会建設・企業常任委員会副委員長	長	武		翔
参	与	横浜市会議長	長	渋		健
参	与	川崎市会議長	長	原		典之
参	与	相模原市会議長	長	大		和弘
参	与	横須賀市会議長	長	加		真道
参	与	平塚市会議長	長	佐		貴子
参	与	鎌倉市会議長	長	中		克之
参	与	藤沢市会議長	長	山		政哉
参	与	茅ヶ崎市会議長	長	岸		正明
参	与	秦野市会議長	長	横	むらさき	
参	与	厚木市会議長	長	遠		浩一
参	与	大和市会議長	長	山		己智恵
参	与	伊勢原市会議長	長	大		真一
参	与	海老名市会議長	長	戸		幸雄
参	与	座間市会議長	長	熊		和人
参	与	綾瀬市会議長	長	齊		慶吾
参	与	寒川町会議長	長	岸		本優
参	与	松田町会議長	長	平		野由里子
参	与	山北町会議長	長	瀬		戸恵津子
参	与	愛川町会議長	長	井		出 一 己

関東国道協会神奈川県地区協議会

会	長	厚	木	市	長	山	口	貴	裕
副	會	藤	沢	市	長	鈴	木	恒	夫
副	會	横	須	市	長	上	地	克	明
理	事	平	塚	市	長	落	合	克	宏
理	事	海	老	市	長	内	野		優
監	事	小	田	市	長	加	藤	憲	一
監	事	松	田	町	長	本	山	博	幸
會	員	鎌	倉	市	長	松	尾		崇
會	員	茅	ヶ	市	長	佐	藤		光
會	員	逗	子	市	長	桐	ヶ		覚
會	員	三	浦	市	長	出	谷	嘉	一
會	員	秦	野	市	長	高	口	昌	和
會	員	大	和	市	長	古	橋		力
會	員	伊	勢	市	長	萩	田	鉄	也
會	員	座	間	市	長	佐	原	弥	斗
會	員	南	足	市	長	加	藤	修	平
會	員	綾	瀬	市	長	橋	藤	佳	彦
會	員	葉	山	町	長	山	川	崇	仁
會	員	寒	川	町	長	木	梨	俊	雄
							村		

関東国道協会神奈川県地区協議会

会	員	大	磯	町	長	池	田	東一郎
会	員	二	宮	町	長	村	田	邦子
会	員	中	井	町	長	戸	村	裕司
会	員	大	井	町	長	小	田	真一
会	員	山	北	町	長	湯	川	裕司
会	員	開	成	町	長	山	神	裕行
会	員	箱	根	町	長	勝	俣	伸喜
会	員	真	鶴	町	長	小	林	文
会	員	湯	河	原	町	内	藤	喜
会	員	愛	川	町	長	小野	澤	豊美
会	員	清	川	村	長	岩	澤	吉博
参	与	神奈川県県土整備局道路部長				中	丸	史介
参	与	横浜市道路局長				田	中	洋征
参	与	川崎市建設緑政局長				河	合	生
参	与	相模原市都市建設局長				鈴	木	延明

要 望 路 線 図



凡 例	
整備促進要望路線 (箇所)	——
事業化要望路線 (箇所)	——
計画促進要望路線 (箇所)	□□□□

注 一部のインターチェンジ (IC) 等については記載を省略している。